

子どもが教えてくれること

つき組 平島

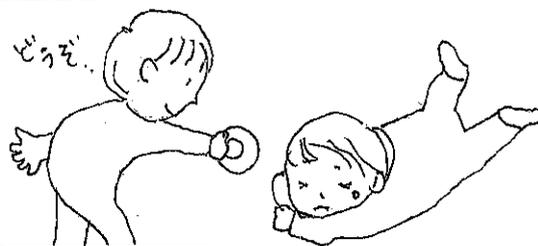
2月に3人のお子さんが入園しました。

初めは、保護者の方と保育士がお話ししながらつき組で遊んでもらい、お部屋と保育士に親しみを感じてもらうことから慣らし保育のスタートです。



次に保護者の方から保育室の色々な物の場所、使い方などを子どもさん伝えていただきます。

その中で、こんなことがありました。入園して4か月のお子さんは、眠くになったらお布団に自分で這って行って自然と眠れるようになっていました。いつものようにお布団に入ったのですが、しばらくすると起きて保育士に布団をたたむように身振りで伝えます。



新入園児さんは泣き声が小さくなって、お迎えまで「先輩」がすることを目で追っていました。

それから、途中で目が覚めて泣いていた新入園児の傍に言って、自分のお気に入りのリングを手渡したのです。



改めて、子どものことは子どもが教えてくれるのだと、子どもから教えられました。